

平成31年度誠光会事業計画

誠光会のモットー：顔と顔／心と心 (FACEtoFACE／HEARTtoHEART)

<p>法人の長期目標</p>	<p>社会福祉の理念を具現化する法人 社会福祉法人の役割を理解し、その機能を更に拡大できる法人 社会福祉変革期に対応できる法人 地域の人々が安心して暮らせるための取り組みができる法人 地域の福祉人材を育てられる法人</p>
<p>年度事業計画</p>	
<p>理事会・評議員会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決算、予算理事会及び評議員会 <ul style="list-style-type: none"> 6月 平成30年度事業報告及び決算 3月 平成32年度事業計画及び予算 ・グループホームまこと建設事業に関する審議 ・各施設の整備工事等のための理事会 <ul style="list-style-type: none"> 誠光荘の改修工事等に関わる審議(年度予算を踏まえて) 桜林館外溝工事等に関わる審議(年度予算を踏まえて) ・その他審議を必要とされる理事会 <ul style="list-style-type: none"> 各施設の運営に関わる審議
<p>法人組織強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の総合的な組織強化 ・誠光荘短期入所、共生型サービス導入 ・自立生活支援事業導入 ・施設支援課(誠光荘)地域支援課(相談事業・桜林館・ケアホームひかりヘルパーステーションピジョン)の積極的な組織充実 ・法人のキャリアパスの仕組みの実践と更なる充実 ・法人運営に関わる人材育成 ・働きやすい職場環境の整備(子育て支援・高齢者雇用・障害者雇用の推進) ・働き方改革に対応する環境の整備 ・就業規定の見直し(有給・特別休暇等の見直し) ・給与規程の見直し(報酬改定後の見直し)
<p>法人のサービス確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底したコミュニケーションからサービスを考える ・法人として地域に向けてのサービスを更に模索・実践する ・高齢・児童等世代を超えた他分野へのサービスの模索

<p>法人事業の強化・拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の事業強化 <ul style="list-style-type: none"> 役員の更なる福祉事業への理解の強化 ・法人の積極的な情報開示 <ul style="list-style-type: none"> ホームページ・社福経営協等への事業報告、決算等の開示 ・今後に向けての新規事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> グループホームまこと土地の造成工事及び建設事業(国庫補助)の実施 自立生活援助事業の実施 ・他の法人・事業所との連携及び強化 <ul style="list-style-type: none"> 県社協・市社協及び他法人との法人連携による地域公益事業に向けた取り組み 県・県社協を中心とした福祉災害ネットワークへの参画及び協力 渋川広域障害福祉なんでも相談室への職員出向及び連携強化 B型就労事業所すばる・ケアハウスポールスター職員出向及び連携強化 ワークショップほしの子への職員出向及び連携強化 その他、他の事業所との連携の模索 ・将来を見据えた人材確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> 来年度新規学卒者獲得のためのガイダンスの実施 介護未経験者(未経験者の募集を定期的に実施)の登用と育成
<p>具体的目標及び数値目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームまこと建設事業の成功 ・法人職員145名、離職者5名以内を目指す ・法人総収入6億7千万を目指す。

平成31年度誠光荘事業計画

誠光会のモットー：顔と顔／心と心(FACEtoFACE／HEARTtoHEART)

施設の長期目標	<p>すべての人が毎日を安全に安心して暮らせる施設</p> <p>お互いを尊重し、一人ひとりがその人らしい生活を過ごせる施設</p> <p>障害者総合支援法下で障害者支援施設として対応できる施設</p> <p>誰からも支持され選ばれる施設</p> <p>地域社会に貢献できる施設</p> <p>福祉人材を育てる施設</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

①健全運営(安定した経営戦略)

<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉変革期の中での経営を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援施設の経営を実践する <ul style="list-style-type: none"> 障害支援区分及び加算等の体制を考える 建て替え等を見据えた入所定員について考える 生活介護事業の運営を考える 施設入所支援事業の運営を考える
<ul style="list-style-type: none"> ・他事業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の積極的な取り組みと更なる連携 ・ケアホームひかり・居宅事業・桜林館との更なる連携 ・他の事業所(就労B・他ケアホーム)との連携

②利用者が安心・安全に生活できる環境の確保

<ul style="list-style-type: none"> ・建物設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内部の見直し <ul style="list-style-type: none"> 建物・設備点検と総合的な整備計画の立案 浴室更衣台の改修 3棟洗面台の改修 正面玄関タイルの改修 その他必要に応じた設備の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・通院・外出等環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援課との連携強化
<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心できる人材の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間等緊急時対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の積極的な取り組みと資質向上 ・施設支援課・看護課の連携の充実 ・協力病院との連携の充実 ・防災活動の充実(他施設等との連携) ・緊急用設備等の充実 ・避難確保計画の導入、BCP(災害時事業継続計画)策定

③利用者個々のニーズにあったサービスの提供

<ul style="list-style-type: none"> ・組織再編 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援施設 日中活動における職員体制の整備 ・棟別リーダー制におけるサービスの更なる充実 ・徹底したコミュニケーションの実施 ・利用者個々にあったケアプランの作成と実施 (離床及び施設内自立を目指す) ・リスクマネジメントの積極的な取り組み ・個別リハビリ計画の更なる充実 ・栄養マネジメントの更なる充実
---------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・日中活動サービスの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動サービスの積極的な取り組み ・桜林館との日中活動の連携 ・地域移行への取り組み ・地域との係りの推進
・行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の見直し (利用者自治会が中心となって、どのように関わっていくか)
・グループ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ及びサークル活動の更なる充実 ・利用者自治会活動の充実
・班・委員会業務の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会活動の連携 ・各班・委員会業務の見直し及び充実

④利用者が満足できる職員資質の向上

・施設内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・業務管理シートの実施 ・業務管理・人事考課・面接制度の確立 ・権利擁護委員会を中心とした権利意識向上への取り組み ・権利擁護等虐待防止に関する研修会の実施 ・施設内研修システムの確立 (新人職員研修・中堅職員研修・リーダー研修 アンガーマネジメント研修・リスクマネジメント研修等実施)
・施設外研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・身障協関係研修会(全国・関東・群身協研修など)参加 ・マンパワーセンター研修会参加 ・他施設見学(生活介護事業実施施設等への見学) ・自主研修(自己啓発)援助の推進

⑤地域に支持される施設の姿勢と位置付け

・相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の更なる積極的な取り組み ・他の相談事業者との連携
・短期事業の利用者拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所の積極的な取り組み ・桜林館・居宅事業との連携 ・各市町村へのPR ・渋川広域地区の在宅障害者の把握
・生活介護及び日中一時支援の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅利用者の積極的な受け入れ ・桜林館・居宅事業との連携
・情報開示の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実と情報開示 ・外部からの積極的な情報提供
・ボランティアの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ボランティアの受け入れ ・グループ活動のボランティアの受け入れ ・個人ボランティアの受け入れ
・地域自立支援協議会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会への積極的参加 ・地域ネットワークの構築

具体的目標及び数値目標

- ・入院者数を減らし稼働率 生活介護95%・施設入所支援97%を目指す
- ・短期入所利用率100%を目指す
- ・地域移行10名を目指す
- ・人材確保及び離職者0を目指す

平成 31 年度 誠光荘相談支援事業所 事業計画

誠光会のモットー：顔と顔／心と心（FACE to FACE／HEAT to HEAT）	
事業所の長期目標	地域ネットワークでの中心的役割を担える事業所 安定した経営・運営を実践する 誰からも支持され選ばれる事業所 地域社会に貢献できる事業所
①健全運営（安定した経営戦略）	
法人内の他事業所との連携による経営を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人内他事業所の利用者の計画相談を円滑に実施。 ・ モニタリング増加に伴う経営・運営を考える ・ 自立生活援助事業の経営・運営を考える
他法人の病院との連携による経営・運営を実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内病院（療養介護）の計画相談を受け持つ ・ 毎月、情報共有、意見交換を実施
②利用者が安心・安全に生活できる環境の確保	
円滑な福祉サービスの利用援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅利用者、GH 利用者の各種福祉サービスの利用援助を実施 ・ 利用者が利用している他事業所との連絡調整を実施
③利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
適切な計画相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者個々のニーズに合ったサービス等利用計画の作成 ・ 定期的なモニタリングによる利用者個々のニーズの把握
地域移行支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人で設立予定の GH3 号館、4 号館の利用希望者の地域移行支援を検討・実施する
自立生活援助事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅生活を送っている利用者が自立した生活を営むことができるよう、訪問して必要な支援を実施する。
④利用者が満足できる職員資質の向上	
法人内の研修参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誠光荘にて開催される研修の参加 ・ 身障協関係研修会の参加
事業所外研修の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁等が主催する研修会に参加
⑤地域に支持される事業所の姿勢と位置付け	
地域ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川地域自立支援協議会定例会の参加 ・ 渋川地域自立支援協議会相談支援専門部会の参加 ・ 法人内外の他事業所との連携の充実
⑥数値目標	
サービス等利用計画作成	30 年度 57 件 → 31 年度 70 件
モニタリング	30 年度 206 件 → 31 年度 230 件
自立生活援助事業	20 件

平成31年度 ケアホームひかり事業計画

誠光会のモットー： 顔と顔／心と心 (FACE to FACE/HEART to HEART)	
事業所の長期目標	<ul style="list-style-type: none"> 適切なグループホーム運営を実践する 利用者が地域のなかで安心して自立を目指し生活をする 誰からも支持され選ばれる事業所 地域社会に貢献できる事業所 社会福祉変革期に対応できる事業所
①健全運営(安定した経営戦略)	
・福祉変革期に対応できる経営及び運営	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したグループホーム事業の経営を模索・実践する ・社会福祉変革期に対応できる運営の見直し ・新規ホーム開設に向け、ハード面及び入居者の検討 ・日中サービス支援型共同生活援助事業の情報収集
・利用希望者の把握	・市町村・相談支援事業所・他事業所との連携の充実
②利用者が安心・安全に生活できる環境の確保	
・通院・外出の対応の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる通院体制の確立 ・居宅介護サービスの活用
・夜間緊急対応の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・誠光荘、病院との連携の充実 ・防災活動の充実(防災訓練は年2回実施)
③利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
・サービス提供体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・重度障害者にも対応できるサービス提供体制の確立 ・GH事業拡大を見越した職員勤務体制の見直し ・徹底したコミュニケーションの実施 ・居宅介護サービスを入れた利用者個々の支援の実践
・日中の生活・就労の場の確保	・福祉サービスの活用と通所事業所との連携の充実
④利用者が満足できる職員資質の向上	
・事業拡大を見据えた人材育成	・サービス管理責任者2名体制の確立
・地域社会に貢献できる人材の育成	・法人内外で行なう研修への積極的な参加
⑤地域に支持される事業所の姿勢と位置付け	
・情報開示の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報開示、外部から積極的な情報提供 ・相談支援事業所との連携の充実
・地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における近隣住民との協力体制の構築 ・なんでも相談室・ケアハウスぽーるすたーとの連携の充実
具体的目標及び数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入院延べ日数を年間50日以内に抑える。 ・離職者0を目指す。 ・新規雇用5名を目指す

ケアホームひかり年間予定表

	内 容	備 考
4月		・日中活動・行事を随時検討し、実施する。 ・誠光荘にて開催される研修の参加 ・毎月1回職員会議開催
5月	防災訓練	
6月		
7月	ひかり祭	
8月	誠光荘納涼祭参加	
9月	防災訓練	
10月	誠光荘文化祭参加 全体会議	
11月		
12月		
1月	利用者新年会	
2月		
3月	全体会議	

平成 31 年度 誠光荘ヘルパーステーション ピジョン事業計画

誠光荘のモットー : 顔と顔/心と心 (FACEtoFACE/HEARTtoHEART)	
事業所の長期目標	適切な福祉サービスを実践する 地域での生活を継続して送ることができる支援を実践する 誰からも支持され選ばれる事業所 地域社会に貢献できる事業所 地域社会の福祉人材を育てる事業所
① 健全運営 (安定した経営戦略)	
・ 居宅介護事業の運営を実践する	・ 安定した居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業 移動支援事業・介護保険事業の運営を実践する ・ グループホームにおける居宅介護事業所の運営を考える ・ 自立生活援助事業との連携・運営を考える
・ 利用希望者の把握	・ 市町村・相談支援事業所・居宅介護支援事業所・他事業所 との連携の充実
・ 人材確保と定着	・ 登録ヘルパーの増員 (求人方法の模索) ・ 徹底したコミュニケーションの実施 ・ ヘルパーが知人を誘うような職場作り
②利用者が安心・安全に生活できる環境の確保	
・ 通院介助・移動支援のための自 動車の整備	・ 安全な運転のための確認 (職員の体調管理・自動車の点検)
・ 緊急対応の充実	・ 緊急時マニュアルの整備・医療機関との連携
・ 他法人、他事業所との連携	・ 情報の共有と福祉サービスの提案と実践
③利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
・ 事業所体制の確立 障害福祉サービス事業 ・ 居宅介護・重度訪問介護・同行援護 移動支援・福祉有償運送 介護保険事業 ・ 訪問介護 ・ 総合事業	・ 徹底したコミュニケーションの実践 ・ 居宅介護計画の作成・実施 ・ 安全・安心な支援内容の模索・実践 ・ 勤務・業務体制の見直し (ケアホーム・デイサービス兼務) ・ 相談員 (障害福祉)、ケアマネージャー (介護保険)、地域 包括との連携の充実 ・ 他事業所や医療機関との連携の充実
④利用者が満足できる職員資質の向上	
・ 法人内の研修参加	・ 誠光荘にて開催される研修の参加 ・ 全身協関係研修会 (全国・関東・群療協研修等) 参加
・ 事業所外研修の参加	・ 居宅介護支援に関わる研修参加 (技術研修・福祉有償運送研修・同行援護等)
・ ヘルパーの人材育成	・ サービスガイドラインの活用 (事業所研修・ヘルパー会議 の実施・徹底したコミュニケーションの実施) ・ サービスガイドラインの状況に合わせた修正
⑤地域に支持される事業所の姿勢と位置付け	
・ 情報開示の充実	・ ホームページでの情報開示、パンフレットの作成 ・ 相談支援事業所・居宅介護支援事業所との連携の充実
・ 地域との関わり	・ 市町村 (障害福祉、高齢者福祉、地域包括) との連携の充実
⑥具体的目標及び数値目標	・ 年間派遣時間 9000 時間の突破 (前年度 8500 時間) ・ 人材確保、登録ヘルパー (16 名) から (20 名) ・ 退職者 0

誠光荘居宅介護事業所年間予定表

	内 容	備 考
4月		・毎月2回職員会議開催 （支援技術指導等を含む） ・随時、居宅介護に関する外部研修参加（群馬県ホームヘルパー協議会）
5月	福祉有償運送運転者研修	
6月	心肺蘇生・AED講習会	
7月		
8月		
9月	同行研修（一般課程）	
10月	全体会議・福祉有償運送運転者研修	
11月	同行研修（応用課程）	
12月		
1月		
2月	地域支援課研修 吸引・酸素吸入・誤嚥研修	
3月	全体会議	